

具体的実施方法と規則（案）

群馬県小学校体育研究会 R8 ☆その他 追記

☆トラック種目（100m、50mH、800m、1000m）

- 100m、友好100m、50mハードル、400mリレーは、スターティングブロックを使用したクラウチングスタートとする。
- 同一選手が3回フライングしたら失格とする。
- 計時方法は写真判定（電気計時）を採用する。
- 順位決定は写真判定により、1/100秒まで計測する。同記録は同順位とする。
- 失格になってしまった場合も、参考記録を残せるようにする。

①100m（男女）

- 各レース9人を基本とし、1～9レーンを使用する。
- 6年→5年の順で実施。

②友好100m（男女）

- 400mRの補員により100mを行う。

③50mハードル（男女）

- 各レース9人を基本とし、1～9レーンを使用する。
- ハードルの高さ60cm、ハードル数5台
- スタートから1台目まで13m、インターバル7m、5台目からゴールまで9m
- スターティングブロックを使用して試走を1回行う。

④男子1000m・女子800m

- 1組18名以内で実施する。
- 腕時計等は危険防止のため着用しないこととする。

⑤400mリレー（男女）

- 各レース8チームを基本とし、2～9レーンを使用する。
- 補員は1名とする。
- 高学年用プラバトンを使用する。（事務局で準備）
- テイクオーバーゾーンは30m、マーカーは一か所のみ可とする。（競技規則の通り）

R4年度よりスタートの合図を変更します

【トラック種目】

50mH・100m・4×100mリレー

- ① 位置について→On your marks
(オン ユア マークス)
- ② 用意→Set (セット)
- ③ ピストル

【トラック種目】800m・1000m

- ① 位置について→On your marks (オン ユア マークス)
- ② ピストル

☆フィールド種目（ソフトボール投げ、走り幅跳び、走り高跳び）

①走り幅とび（男女）

- 試技回数は3回とする。
- 踏切板を使用し、計測方式による実施及び、記録とする。
- つま先が踏切板から少しでも出てしまった場合は無効とする。
- 3回ともファールの場合は最後の跳躍を参考記録として計測する。
- 最高記録により順位をつけるが、最高記録が同じ場合にはそれぞれセカンド記録、サード記録により順位をつける。サード記録まで同じ記録の場合には同順位とする。

②走り高とび（男女）

- 同一の高さ3回以内の試技とする。パスすることはできるが、3回連続失敗した場合はその時点で終了となる。
- 男女それぞれA（南側）とB（北側）に分かれ、同時刻に競技を開始する。

○正面とび（はさみとび）を有効試技とし、足の裏から着地しない場合は無効試技とする。係員が足の裏から着地していないと判断した場合は、1度目はやり直しとし、2度目以降は無効試技とする。→ 明らかに着地を失敗して足以外から着地した場合はその限りではない。

○試技は呼名後、およそ60秒以内に完了する。

○バーの上げ方は下記の通りとする。

男子 120cm 125cm 130cm 135cm 138cm 140cm 142cm ・ ・ （以後2cm間隔）

女子 110cm 115cm 120cm 125cm 128cm 130cm 132cm ・ ・ （以後2cm間隔）

○その日に跳んだ最高記録により順位をつける。ただし、全試技を記録しているので、

①その日の自分の最高記録を3回のうち、何回目でも跳んだか。②無効試技が何回あったか。（少ない方がよい）を考慮して順位をつける。②まで考慮しても同記録の場合には同順位とする。

※長時間の競技に備えて、タオル、帽子、飲み物、軽食を持参しても良い。

③ソフトボール投げ（男女）

○試技回数は3回とする。連続ではなく、1回ずつの試技をくり返すこととする。

○申込み記録を基にしてブロック、試技順を決定する。

○男子A・B、女子A・Bの各2ブロックに分かれ、男女ともA・Bが同時刻に競技を開始する。

○弧の部分についてはハンマー投げ用サークルを使用し、その後方に助走路を設ける。（内半径2.135m）

○落下したボールが、角度を示すラインに触れても有効とする。

○計測は、落下地点より、投てき範囲を示す両ラインの頂点を結ぶ最短距離上に巻尺を当て、弧の内側までをcm単位まで計測し、記録する。

○試技終了後はいったん静止し、弧の部分より後方から出る。

○3回ともファールの場合は、3回目の投てきを参考記録として計測する。

○ソフトボールは1号ボールを使用する。（事務局で準備）

○一番よい試技のみを計測しているので、その一番よい記録のみを採用とする。同記録は同順位とする。

※個人によるボールの持ち込みを禁止する。

☆その他

○トラック種目の番組編成は、各郡市の記録会の記録をもとに、ほぼ同記録の選手及びチームで編成する。

最終組のレーンは、記録の上位順に、5 6 4 7 3 8 2 9 1とする。

○プログラム編成以後の選手の変更は認めない。

○開会式中はウォーミングアップをせず、全員開会式に参加すること。

○リレーのオーダー提出は8時30分までに本部までとなるが、やむを得ない変更は競技開始の1時間前までに受付係に提出すること。

○トラック種目においてレーン侵害がおきた場合、明らかに隣のレーンの選手の侵害を行っており、記録に影響を及ぼした場合は失格とする。また、その際にレーン侵害された選手については、再レースを行うことができる。再レースをした場合、本来は再レースの記録を正規の記録とするが、教育的配慮として再レース前の記録のほうがよかった場合はそちらの記録を採用する。